

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月19日(18:00～20:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、船木、木村、上井、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	人	人	14人

前回の改善計画	初期の情報共有に関しては、契約時に記入して頂く「個別生活特性シート」を中心にその方の特徴を活かせるようにしていく対応は継続し、記録には本人の反応や発言をそのまま記載していく。各職員がシートを見たらサインをすることで、見ていない職員へ声掛けできるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	・初回契約時は送迎・入浴・トイレ・食事などと訪問時の対応を支援経過に詳細を残し、出勤時に確認して対応の理解度が増した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10		1	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	3		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	11			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・詳細を見ることで関わっていなくても大体の対応が理解できた ・スタッフ同士の情報共有は出来ていたと思う	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・申し送りなどで伝達されると自分で記録を見る事をしなかった時がある ・訪問へ行く回数が少なく、薬の情報が追加されたり減ったりする時が分からなかった ・訪問へ出る機会が多く、日中の状況が分からない時が続くことがあった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・初回関り時の食事・入浴・送迎・訪問など支援経過への詳細記載の継続 ・記録の苦手な職員に向けて、記録や伝え方を学ぶ場を作る ・訪問できる職員を増やす	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月19日(18:00~20:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、船木、木村、上井、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	4人	2人	14人

前回の改善計画
・毎日同じ方のケアに入らないように、リーダーが利用者様毎に介助する中心職員を当日決める ・本人の意向が分かりにくいという意見があるため認知症の方の意思確認について勉強していく 厚生労働省よりガイドラインの出ている、認知症の方の意思決定支援の方法を軸に行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果
・食事介助や入浴介助など決められた介助は同じ職員に偏らないように分散できていた ・認知症の勉強に関しては勉強会の開催などは行えなかった。 ・認知症意思決定ガイドラインの読み込みは各職員に任せていてまだ十分ではない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	4	8		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	6	4		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	4		14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8	2	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・食事介助などの担当が事前に決めてあるためスムーズに介助に入れた ・普段進んで関わっていなかった方へ関わる意識が増えた

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・認知症の方への意思決定ガイドラインについては読めていない ・何がしたいか言えない方の何がしたいをうまくひきだせていなくわからなかった ・本人の目標の視点が欠けてしまい今日デイで出来る事をしている日が多かった

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・同じ人が連続で関わらないように介助者を決めていく方法は継続していく ・認知症の方への意思決定ガイドラインについてはカンファレンスの中で時間を作り読み合わせをする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月19日(18:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、船木、木村、上井、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>夜の状況やセンターを利用されない日の過ごし方を、送迎時やノートのやり取りで把握していく。</li><li>本人の昔の趣味や出来る事を個別に30分でも行えるように職員配置を見直していく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>自宅で過ごされている状況などご家族から連絡ノートなどで情報を得ることは増えた</li><li>前期は個別に話が出来ていたが、時間がたつにつれて個別に関わる意識が少なくなり時間が減ってしまった</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	6	4	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	5	2		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	9	2	2	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	5	1		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	7	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>利用者様の体調変化に気を付けて仕事をしている</li><li>最近の調子はどうかを確認している</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>本人の声にならない声を言語化できていない</li><li>精神面の点から基本的な介護が難しい利用者への対応が上手く出来ていない</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>以前の暮らし方についてもっと情報収集していく</li><li>利用者自身が思っている想いに意識的に耳を傾けていく</li><li>口頭による伝達で済まらずに記録に残す癖をつけていく</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月19日(18:30~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、木村、上井、船木、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	3人	人	10人

前回の改善計画	・単発で終わらないように地域との交流には参加していく。なるべく経験のある職員と関わったことのない職員をペアで参加できるようにしていきたい
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人の人間関係や生活スタイルには意識は向けられていた ・本人と地域の関係性の部分へは関りが少なくなっても改善の仕方が分からなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	1		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	6	1		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	6	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	5	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・時間のある時には昔の生活など詳しく話してもらっている ・訪問の利用者に関しては以前より行く機会が増え理解が深まった ・生活スタイルや人間関係を少しずつ聞くようにしている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との交流 ・訪問する機会が少ないため自宅での過ごし方が想像できにくい人がある ・本人と地域とのかかわりが分かりにくい	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人と地域のかかわり方を家族等に協力してもらい情報を得て地域を含めて支援する ・コロナ禍における地域とのかかわり方について学ぶ機会を設けていく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月19日(18:00～21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、木村、上井、船木、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	2人	1人	10人

前回の改善計画

- ・自治会の方へ声掛けして一緒に防災訓練を行う。
- ・地域行事の参加や独居の方の近隣住民の方への声掛けを継続していく

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・急な泊りや通所から訪問への切り替え、利用日の変更時間帯の変更など様々なニーズに1つずつ対応していた。
- ・地域の行事はコロナ禍で中止になったケースも多く参加できなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	4	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	4	1		10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	4	1		10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	1		10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者に対して柔軟な支援が出来ていると思う
- ・ニーズに応じて支援出来ていると思う
- ・日々の変化はミーティングや朝礼で共有されている
- ・急な要望にも対応しているのでその日の状況や家族の都合などに合わせて通い・訪問・宿泊の調整は行えていると思う

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域支援に関しては実施や検討が十分ではない
- ・自治会への声掛けや参加はコロナの影響もあり実施できなかった
- ・前回の改善同様消防訓練など自治会の参加は行えなかった

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・デイ職員だけの支援では難しく家族の支援が必要と感じても家族の協力が得られにくい時がある。家族を巻き込んだ支援をしていけるように丁寧な説明を行い協力が得られるようにする
- ・コロナの影響もあったが地域の行事に参加していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月19日(18:00～21:00)

6. 連携・協働

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、木村、上井、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	2人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医や地域包括、区役所とは今後もセンターだけで考えるのではなく、情報を発信しアドバイスを受けていく中で利用者様により良い支援が行える環境を作る</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医や訪問看護、区役所などとは必要に応じて感染対策をしながら話し合いを実施し情報共有を行ったが件数は減った</li> <li>・自治体や地域包括への会議もコロナの影響から参加話見合わせるが多かった</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	3	2	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	2	5	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	4	5	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			3	5	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医の意見を取り入れて利用者様の対応をしていると思う</li> <li>・家族の希望や要望に対して情報共有は出来ている</li> <li>・主治医や訪問看護とはケアマネや管理者中心に連携が出来ている</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の行事参加はコロナの影響もあり参加できていない</li> <li>・コロナの影響で利用者やご家族以外の方への来所は控えてもらっていた</li> <li>・</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが終息した後に利用者様やご家族以外の方の来所を再開する。ボランティアも再開検討していく</li> <li>・コロナ禍における担当者会議や地域包括センターの会議参加の進め方を学び実施できる環境を作る</li> <li>・地域の人に知ってもらうため、道路に面した駐車場を活かしカフェテラスなどの実施を検討</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月19日(18:00~21:00)

7. 運営

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、上井、木村、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	6人	人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災訓練の地域住民の方の参加</li><li>・立ち寄りやすいような看板などの作成</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災訓練は地域住民の参加が出来ていない。コロナ禍もあり声をかけていない。</li><li>・看板はきれいなものに変更した</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	4	3		9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	1		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	4		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	3	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・職場の雰囲気として自分の意見は言いやすいと思う</li><li>・家族からの要望に対しては業務カンファレンスを中心に話し合いを行い、対応や実施は出来ていた</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・3密を避けなければいけないため地域の人に来てもらうことは出来なかった</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナが落ち着けば来書して問題点などを直接伺う</li><li>・コロナ禍でもこちらから情報発信し意見がもらえるような体制づくりを築いていく</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月19日(18:00~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、上井、木村、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	6人	人	8人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>研修参加者は研修参加後に研修報告するときに今後、どのような取り組みをしていきたいか伝え、期間を定めて振り返りを行う</li><li>地域活動には今期も継続して参加できるように調整していく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>研修は外部の研修はほぼ中止となり参加できず。感染に関する内部の勉強や周知を行った</li><li>地域包括での講演1度のみ。コロナ禍もあり外部へ行く件数も減った。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		2	4	3	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	5	1	9
③	地域連絡会に参加していますか			7	2	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	3	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>介護をしていくうえで不安な事は相談するようにしている</li><li>地域包括支援センターで高齢者の住まいに関する講演を実施した</li><li>研修自体は行けていないが、症例などに対してセンター内で話し合いを行い質を高める努力を行った</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>コロナ禍で研修は全体で中止になっている</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>ズームなどを活用したコロナ禍における研修方法を学ぶ</li><li>感染対策を行いながら研修に参加できる方法を学ぶ</li><li>小規模の特性を生かして認知症の相談会などが行えるとよいと思う</li></ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月19日(18:00～21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、上井、木村、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	2人	2人	人	9人

前回の改善計画	・成年後見制度について学ぶ機会をカンファレンスの一部を使い設ける
前回の改善計画に対する取組み結果	・成年後見制度の利用があり申し送りやカンファレンスで必要な事や対応する人や適任者など区役所の方などにも担当者が説明していただける機会があり、その情報を共有することが出来た

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	1			10
②	虐待は行われていない	8	2			10
③	プライバシーが守られている		9	1		10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	2	2		9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・人権やプライバシーに関しては良く守られていると思う ・成年後見制度を利用した人がいて、申し送りや業務カンファレンスなどで流れを知ることが出来た ・身体拘束や虐待はしていないし、されていない ・利用者様の中に成年後見制度の補佐を受けた方がおり、担当者よりその流れを情報共有できた

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・成年後見制度に対する情報を発信したが、理解度にはばらつきが見られた ・

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・人権擁護や高齢者虐待に関する研修の実施 ・日々のプライバシーに対する意識と取り組みを話し合う機会を設ける

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 三喜会	代表者	鈴木 龍太	法人・ 事業所 の特徴	平成18年より地域に根ざした認知症ケアの実践に取り組んでいます。家庭的な雰囲気をお大切にし、デイサービスの利用に消極的な方や若年性認知症の方、周辺症状のある方などの利用にも積極的に対応しています。通い慣れた場所での泊まりや馴染みのスタッフによる訪問サービスなど、環境の変化に敏感な認知症の方にも負担少なく利用していただいています。介護支援専門員、介護福祉士、看護師、認知症ケア専門士、作業療法士等の資格を持った経験豊富なベテランスタッフがチームワーク良くご利用者の支援に取り組み、専門職の立場からご家族の相談にも応じ、支援しています。
事業所名	デイサービスセンター 青葉台	管理者	吉野 裕晃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	1人	人	3人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	全体確認は継続していき、振り返りは時間を決めて短時間でも行えるよう習慣にする。月のカンファで月単位の振り返りも実施する。	利用中の要望に対する対応を月単位で振り返った。急な対応にもその日で出来る対応を伝え、家族と連携しながら対応できた。	対応は出来ていると思います。急な対応に応じてもらえると家族は助かり、小規模の良さが出ていると思う	ご家族との連携を継続しながら小規模ならではの利用内容の変更にも柔軟に対応していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	パンフレットを見やすいものに変更し、利用者様が見た目にもわかりやすく、利用のイメージが付きやすいものに変更していく	パンフレットの変更は法人本部と話し合いはしたがコロナ禍にて施設の写真撮影などが延期となり変更には至らず。来期実施予定。	パンフレットは新しくなっていないので、新しくなったら見てみたいです。施設内の写真があるとイメージ付きやすいと思います	前期できなかったパンフレットの変更を実施する。室内の照明など明るく感じられるような電球に変更していく
C. 事業所と地域のかかわり	今後も定期的に認知症カフェや包括主催の行事に参加し地域を知るとともに、小規模を知ってもらう機会を設けていく	包括主催の高齢者の住まいの題材でGHと合同で講義を行った。コロナ禍もありその他の参加は昨年に比べ減った。	コロナ禍で認知症カフェへの参加などは出来なかったが包括主催の勉強会に参加してもらった	地域の行事に参加する。地域包括主催の勉強会や研修会などに参加し地域の方にも知ってもらう機会を設ける
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	本人の暮らしを小規模や主治医・訪問看護以外のインフォーマルな資源に目を向けて支えていける検討をしていく	ご家族と話し合い、買い物へ行きたい利用者の気持ちを尊重し、制限は極力行わない対応が3件できた	コロナ禍という事もあったがインフォーマルな資源への取り組みをしているのかはよくわからなかった	利用者の自宅付近で関われる商店や地域包括の催しなどに参加できるように情報収集を行う

E. 運営推進会議を活かした取組み	民生委員の方など地域住民の方からの情報を提供していただき、センターの利用者様が参加できるように安全に行事に参加できる仕組みを作る	今期はほとんどの運営会議がコロナ禍により中止となった。書面開催を実施し始めているが、ズームなど用いたコロナ禍での会議を行える環境作りが課題	運営会議は延期や書面開催が主体であったため、包括でもズームの勉強会を開催しているのでズームも用いた開催出来る環境を整えられればと思います。	ズームを使った会議を少しずつ実施している。環境を整え今回の感染が広まっている時期でもウェブ開催が出来るようにしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	センターで実施する防災訓練の日程を年間の日程で調整し、自治会へ協力をお願いしていく	コロナ禍という事もあり、センターへの来所を制限したため今期は声掛けを実施できていない。来期コロナ終息に合わせ実施予定	地域の方を招いた合同の防災訓練は開催出来ていない。コロナ終息後に改めて開催してもらいたい。内部のみの訓練を実施。	コロナの終息は未定な所はあるが、終息後に合同防災訓練を行っていく。内部のみの訓練は定期的に実施。